

## 1. 調査目的等

中学校全学年の生徒の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善、及び進路指導に役立てる。

## 2. 学校ごとの指標

標準偏差値を上回る。

## 3. 指標にむけての取組

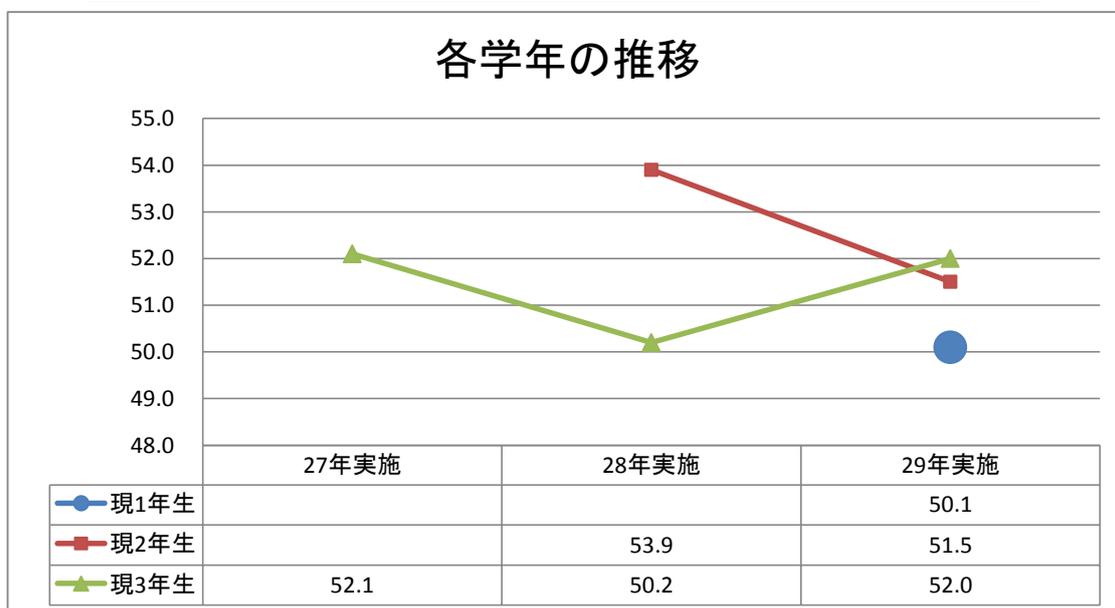
- 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る活動の実施
  - ・学力調査の分析結果を基にした苦手分野の繰り返し学習の取組
  - ・授業と連動した家庭学習の実施・点検・評価の徹底(自学の充実)
  - ・授業アンケート(生徒による授業評価)の実施と結果を受けた教師の授業改善策の生徒への提示

## 4. 調査結果

※学校平均5年間の推移 (標準偏差値50に対して)

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
本校(A)	51.3	52.3	52.6	52.0	51.2
嘉麻市(B)	45.6	46.6	47.0	47.3	47.9
(A)－(B)	5.7	5.7	5.6	4.7	3.3
標準偏差値との差 (A)－(50)	1.3	2.3	2.6	2.0	1.2

### 各学年の推移



## 5. 各学校における分析

昨年度から成績が下がっている学年、上がっている学年がある。全校的に学習に臨む姿勢は生徒も教員も努力しているが、細やかな手立ての部分で改善が必要である。

## 6. 各学校における今後の取組

知識技能中心の問題出題から、活用力、読解力を意識した問題へと出題傾向が変わってきたので、繰り返し学習、ドリル学習を状況に応じて適切に行うことと、問題解決的な学習を行うこと、これを両輪として授業経営を行っていく。

- ・生徒が問いややる気をもつよう、導入に工夫のある授業を行う(校内研究の日常化)。
- ・評価活動を充実させる。
- ・週末に個別の家庭学習課題(前回のフクト分析より見出した生徒個人の不得意教科・領域)に取り組み、月曜日の提出率95%以上を目指す。
- ・家庭での学習時間について、1・2年生は90分、3年生は120分を超えるように、宿題や自学の質と量を向上させるための具体的な指示(予習や復習、テスト対策等)を行い、9割の生徒が目指す学習時間を超えたと答えるようにする。

## 7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

嘉麻市学力向上推進プランに設定した「書く活動」を核とした授業づくりを推進する。そのために、校内研修における授業参観指導を実施する。

基礎基本の徹底を図るための環境を整備する。そのために、基礎基本の徹底に向け、形成的評価を強化する。また、評価後の習熟度別指導を充実させるよう指導する。

嘉麻市学力向上プランに設定した「家庭学習」を推進する。そのために、「家庭学習のすすめ」を活用した指導を徹底させるとともに、「家庭学習のすすめ」を児童・生徒の全家庭に配布し、家庭への啓発を行う。また、個の学習課題に応じるため、週末課題の個別化を推進する。